

## RJNグレード部会研修会

4月6日(土)組合事務所において、RJNグレード部会の研修事業が、「足場の組立て等の業務に係る特別教育」をテーマに行われた。従来労働安全衛生法により、「作業床の高さが5m以上の足場」については組立て・解体・変更作業が極めて危険作業であるとの位置づけのもと、「足場作業主任者技能講習修了証」所持者が、事業者の代理として、現場にて作業の進行状況を監視する職務をすることが定められていた。しかし、ここ



数年の5m未満からの墜落災害多発の背景を踏まえ、足場作業主任者選任配置の義務付けは従来どおりの「5m以上の足場」だが、具体的な防止措置を「2m以上の足場とする」として措置義務付けの法改正が2015(平成27年)7月1日施行となった。そして、足場についての正しい知識を習得した上での作業実施の観点より、「足場の組立て等の業務に係る特別教育」が労働安全衛生規則第36条39号として追加となったため、今回の研修実施となった。



講師は(財)中小建設特別教育協会の波多野勲氏、受講者は組合員企業より24名(うちMグレード部会企業から6名)参加で、時間は9時30分から17時までの、休憩時間を除き360分の強硬スケジュールであった。内容はテキスト、パワーポイントを駆使して、具体的に労働災害の防止を図る、非常に有意義なものであった。狭い組合事務所に総勢30名が入り、研修環境の熱気は相当

のものだったが、受講者全員に修了証が授与され、充実した研修となった。

## 役員会だより

4月25日(木)15時30分から組合事務所で開催した。



- ・45期通常総会に提出する議案書を承認した。併せて行う研修会のテーマと講師が決まった。
- ・秋の合同支部会は11月16日(土)に箱根湯本温泉「ホテルおかだ」で開催することを決定した。
- ・今年度塗料購入のグレード別割当缶数を決定。

## 監事監査の実施

4月17日(水)11時から組合事務所でお泉監事、加藤監事による監事監査が行われた。辻総務委員長から30年度事業結果概要として2年目となる5S運動の推進、新規組合加入の促進、支部会活動の活発化などの重点事業、及び決算内容の説明があり、質疑応答の後監事による会計帳簿、伝票類、銀行口座残高の照合等チェックが行われた。慎重に審査が行われた結果、適正な会計処理がなされていると監事から表明がなされ、岸部理事長から感謝の意が伝えられて終了となった。



## 工場認定条件の保持状況確認への協力依頼

国土交通大臣が鉄骨製作工場において溶接された鉄骨の溶接部を認定する制度(以下「工場認定制度」)において、工場審査時に確認した品質管理体制に変更が生じた場合には、その旨を1ヶ月以内に性能評価機関に届出ることになっています。

しかしながら、資格者の充足状況を認定期間の途中で確認することとなっていないため、届出がない場合には、次回更新時までに必要な品質管理体制が保持されない状態に陥っていることが危惧されます。

そこで、工場認定制度及び鉄骨製品の進行状況を監視する信頼性確保を図るため、工場認定を受けた構成員会社を対象に、「工場認定条件の保持状況」を確認することの協力依頼が、一般社団法人全国鐵構工業協会よりありました。

2019年度の対象は全ての認定工場です。性能評価時からの品質管理体制の変更の有無等の確認についての協力依頼、確認書様式等を郵送しますので、6月28日(金)までに提出してくださるようお願いします。

## 鉄骨加工業概論の授業始まる

4月9日(火)から、今年で10年目となる日本溶接構造専門学校鉄骨生産工学科2年生への「鉄骨加工業概論」の講座が始まった。毎週火曜13時から1時間半の授業で、前期14回が予定されている。講師は例年どおり岸部、小原、石井各氏が担当し、



経営者の立場からファブの技術、経営のあり方を展開していく。今年の生徒は4人で、全員男



子、ファブの子弟は3人であった。初日は、生徒一人が体調不良のため欠席で、生徒3人に対し、岸部講師がオリンピックを来年に控えて活況を呈する鉄構業界の実態、不良鉄骨に対する品質確保の歴史

、相次ぐ災害への対応、溶接や構造の知識、資格取得の意義など序論を講義した。今後は工場見学も含め、講師が交替で、建築鉄骨の歴史、設計、材料、加工、検査、経営管理まで講義する予定。

## 全国R Jグレード部会総会 報告

3月8日、「バーディーホテル千葉」にて、第16回通常総会が開催された。神奈川からは菅原会長、柳川副会長、佐々木会計、小川の4名が出席。

講演会での、東構塾塾長青野弘毅氏の講演「鉄骨不具合事例から学ぶ」は、スライドを活用した解りやすいものであった。

フリーディスカッションでは、全体鉄骨需要の旺盛な状況の継続、HTBの納期に3カ月程有し、皆困っていること、まだ半年はボルトメーカーの生産が需要に追い付かない見込み等の話題が出て、有意義な情報意見交換会となった。【小川】



## 塗料購入の割当缶数 (お願い)

全構協共済事業である大日本塗料の指定塗料をご購入いただきますと大日本塗料、ダイニッカ(株)、(株)アックから組合に手数料が入りますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。今年度グレード別購入目標缶数は次の通りです。なお、30年度の実績は目標に対し67%の達成でした。

Hグレード	500缶	Mグレード	160缶
Rグレード	50缶	その他	10缶

## 全国鐵構工業協会青年部会全国大会 報告

4月2日、「名古屋東急ホテル」にて、第28回通常総会が開催された。神奈川からは小泉関東ブロック会長、田中会長、柳川の3名が出席。本年も全国から集まったノズルチップによって、東山動植物公園他に車椅子が贈呈された。

記念講演として、カレーハウスCoCo壱番屋創業者の宗次徳二氏が登壇され、幼少期から養父に毎日シケモクを拾わされた極貧生活を送ったため、会社の業績が右肩上がりになった今も物欲がなく、身に付けているものも首から下で3万円、眼鏡は1万8千円、金色のネクタイはアメ横で買った500円、駄洒落が大好きな大変ユニークな方だった。値下げでの営業はせず、笑顔でお客様のことだけを考えたサービスを提供するのがポリシーで、自分が社長を降りてからは、役員にも残らず潔く後継者に任せてこられたそう。会社の利益の1割は社会奉仕に使い、経営者は休まなくて良いとのこと。さすがは「日本一の変人経営者」と名乗るだけの方だと思った。

懇親会では「鉄骨クイズ」が行われ、我が小泉ブロ長率いる関東ブロックが準優勝となり大盛況で終了となった。【柳川】



## 第45期通常総会等のお知らせ

日時 令和元年5月22日(水)14時～

会場 メルパルク横浜

14時30分～ 研修会

「事業継承のポイント(仮題)」

講師：税理士 桐澤寛興氏

16時15分～ 第45期通常総会

17時15分～ 賛助会員との交流会

## 事務局長就任あいさつ

4月1日付で事務局長に就任いたしました目黒節子と申します。3月末に神奈川県を定年退職いたしまして、こちらにお世話になることになりました。

「鉄構業」とは全く無縁でしたし、11年も勤められた清水前事務局長の後任として、どれほどお役に立てるか不安ですが、事務局の小宮さんにも支えていただきながら、明るい、話やすい事務局を目指して頑張っておりますので、ご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。

